



田口行弘さんが金石海原に漂流物でつくった皆が集える「居場所」


自治区AIR
金石大野アートプロジェクト
金石スタジオまつり

2018年12月16日(日)

アーティストの田口行弘さんが金石滞在中に制作した作品を展示

金沢21世紀美術館が企画・主催するアーティスト・イン・レジデンス・プログラム「自治区AIR」では、金石に滞在・制作の拠点となる金石スタジオを開設しました。滞在アーティストの田口行弘さんによる作品展示をはじめ、海岸の漂流物を使ったワークショップや金石の食など、「みる・つくる・あじわう」をキーワードにスタジオをオープンします。金石の新しい「居場所」にぜひ遊びに来てください！

プログラム名	金石スタジオまつり
日時	2018年12月16日(日) 13:00-16:00
場所	金石スタジオ(金沢市金石西2丁目17-23)
主催	金沢21世紀美術館[公益財団法人金沢芸術創造財団]
お問合せ	金沢21世紀美術館 TEL076-220-2800

平成30年度 文化庁 アーティスト・イン・レジデンス活動支援事業 

本資料に関するお問合せ

金沢21世紀美術館
事業担当: 中田耕市、木村健 広報担当: 落合博晃、石川聡子
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp



主な内容

みる

田口行弘 作品展示

金石滞在アーティスト田口行弘さんの活動をまとめた映像の上映や、漂流物で「居場所」を作った金石海原へのツアー、さらに流木やマンホールなど金石で発見したものをTシャツに写し取るパフォーマンスもあり。



金石海原に漂流物で作った「居場所」

つくる

漂流物ツリー飾り&
貝殻キャンドルをつくろう! (15:30まで)

金石海原で見つけたものを組み合わせて、流木ツリーを飾りつけたり、貝殻でキャンドルを作ろう。

協力：かないわものづくりサポーター、未来link、
まるびいみらいカフェ
(金沢21世紀美術館ボランティア)



あじわう

かないわ香箱かに汁

地元の皆さんが作るオリジナルのかないわ香箱入り「かに汁」を振る舞います。※食数に限りがありますので品切れの場合はご了承ください。

協力：金石商工会婦人部、めん房なかもと

金石レシピ

妙覚寺住職の寺尾賢右さんが金石に古くから伝わる郷土料理(生臭漬け、干しソロ煮、イカの鉄砲煮)を再現します。実演や試食もあり。

アクセス

バス停「金石」から歩いて5分、海岸通り沿いです。
公共交通機関や徒歩、自転車などをご利用ください。

アートバスでの送迎

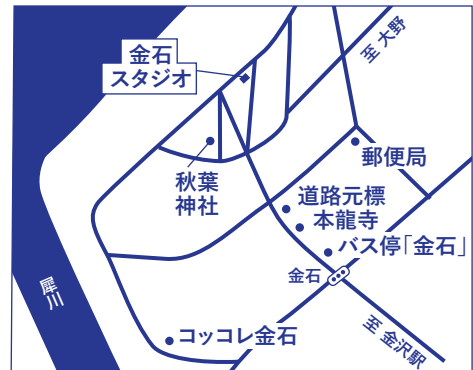
金沢21世紀美術館と金石スタジオの間をアートバス
で無料送迎します。ご利用の際は予約フォーム
(<https://goo.gl/forms/Yyh4vkBFSGhVpSj32>)
よりお申し込みください。

金沢21世紀美術館発…13:00

金石スタジオ発…14:45/16:15

定員：先着25名

所要時間：約35分



自治区とは？

2017年より始まった、金沢21世紀美術館の新しいプログラム。現代美術に限らず科学や音楽など他の領域を横断しつつ、「自治」をキーワードに、ライブ、映像上映、トークなど美術館での展覧会とは違った多様なプログラムを実施し、実験的なアクティビティへと拡張してきました。本年度は「ON/OFF」をテーマとして、異なる文化や歴史の中での暮らしに触れる(Touch ON)、地域のコミュニティとつながる(ON line)、ライブ、上映、トーク、ワークショップなど通じて、新たなアイデアや刺激を拡散する(Spread OFF)ことを目指して、自治区AIR(アーティスト・イン・レジデンス)に取り組みます。

自治区AIR
金石大野
アートプロジェクト

アーティストが滞在し、地域の方々とともに活動しながら調査や制作を進めるアーティスト・イン・レジデンス。金沢21世紀美術館は広坂から飛び出し、アーティストとともに金石大野に新しいAIRの拠点を作ります。アーティストと地域コミュニティが連携、協働することで、双方に刺激的な化学変化を誘発し、新しい「何か」が生まれるきっかけとなります。

今年度
(2019年3月まで)
の滞在アーティストAIR 1: 田口行弘(ベルリン在住)
滞在中～2018年12月

田口行弘(たぐち ゆきひろ)

1980年、大阪府生まれ。東京藝術大学美術学部油画専攻卒業。2005年よりドイツ・ベルリンに活動の拠点を移す。

ドローイング、パフォーマンス、アニメーション、インスタレーションが混然一体となった「パフォーマンス・インスタレーション」で近年注目を浴びており、とりわけ公共空間において他者との関わりを誘発する作品は高い評価を得ている。

Kunstverein Arnberg(2015年、アルンスベルグ、ドイツ)などドイツ国内での個展開催のほか、「in your heart and in your city」(2016年、KØ'S Museum of Art in Public Spaces、クーエ、デンマーク)、「Open ART Biennale 2017」(エレブル、スウェーデン)、など世界各地での国際展やグループ展への参加も多い。



今年度
(2019年3月まで)
の滞在アーティスト

AIR 2:
ムン・キョンウォン & チョン・ジュンホ
(韓国)
2019年1月～3月(予定)

ムン・キョンウォン MOON Kyungwon
1969年ソウル(韓国)生まれ。

チョン・ジュンホ JEON Joonho
1969年釜山(韓国)生まれ。

ムン・キョンウォンとチョン・ジュンホによるデュオ。
近年、学際的なプラットフォームを作ることに焦点を当
てた共同プロジェクト「News From Nowhere」を活
動の中心としている。最初のサイトスペシフィックな共
同作品を2012年のドクメンタで発表。主な個展に
2013年「News from Nowhere」シカゴ美術館附属
美術大学、2015年ミグロス現代美術館(チューリッ
ヒ)、「The Ways of Folding Space & Flying」ヴェ
ネチアビエンナーレ 韓国館、2017年「Freedom
Village」スカイ・ザ・バスハウス(東京)などがある。



5

広報用画像

画像1～5を広報用にご提供いたします。ご希望の方は下記をお読みの上、広報室へお申し込み
ください。

画像お申し込みフォーム ▶ https://www.kanazawa21.jp/form/press_image/

[使用条件]

※トリミングをご遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レ
イアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報室へお送りください。

※アーカイブのため、後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。以上、
ご理解・ご協力のほど、何とぞよろしくお願いいたします。